



録画を配信

前期基本計画 成果があったものは

町長 子育て環境の満足度や林業生産額が上昇した



まる かわ まさはる
丸川雅春 議員

佐藤前町長が掲げた理念を引き継ぐ、田宮町長版「共創のまちづくり」に期待する。

コロナ禍の影響

問 第6次総合計画の前期が終わり、コロナ禍の影響と、成果があった施策等をどう評価したか。

町長 特に人の移動が制限されたことで、観光、交流分野で大きな影響を受けた。

一方、成果があったものとして、子育て環境の満足度や林業生産額が平成30年度比で大幅に上昇している。評価に当たっては、単に目標値の達成だけでなく、コロナという特殊な社会情勢を十分考慮している。

関係人口と共創のまちづくり

問 担い手確保にもつながる、関係人口という概念が入ってきたことで、「共創のまちづくり」をどのように進めていくのか。

町長 国の事業である「ふるさと住民登録制度」の活用を準備している。共創の担い手として、ふるさと住民登録者を加えることで、広く多様な視点等を地域づくりに取り込むことが可能になると考えている。

ふるさと納税者も

問 ふるさと納税者も関係人口として認識し、つながりを持っていくべきと考えるが、いかがか。

企画政策課長 寄付という形で町を応援していただいているので、関係人口と認識している。「ふるさと住民登録制度」にどのような形で登録していただけるか今後検討し、つながりを継続していきたい。

まちづくりの課題

問 町民参画のまちづくりの課題解決への取り組みは。

町長 「共創のまちづくり」の理念をより実質的なものにしていくためには、幅広い町民の皆様と行政が直接対話できる場を増やすことが重要である。そのため今後、移動町長室を考えている。

移動町長室

問 移動町長室は具体的にどのようなものか。

町長 各地区のコミュニティセンターに伺い、町民の皆様や町内に勤務されている方などを対象に、個別の要望を受けるといったことなく、直接意見交換をするもの。

問 学校での移動町長室の実施を考えてはどうか。

町長 子どもたちの意見を町政に反映させることも大事であり、まずは教育委員会等で検討し、小中高校生版を前向きに考えていきたい。



森林の未来を考えるワークショップ

私もひとこと

ワクワクするような「共創のまちづくり」を。
(40代女性)